

2012ふくしまキッズ冬プログラム

参加者説明会

参加要項



主催：ふくしまキッズ実行委員会

2012 ふくしまキッズ冬プログラム 参加要項 目次

・参加者説明会（会場、日時、進行）について	2p
2012 ふくしまキッズ冬プログラム開催概要	
・2012 ふくしまキッズ冬プログラム開催に向けて	3p
・ふくしまキッズ基本計画	4p
・ふくしまキッズ組織図	5p
実行委員会、支援委員、特別賛同人、組織図、運営・主催・体制	
2012 ふくしまキッズ冬プログラムについて	
・各コース日程表	7p
・ふくしまメッセージについて	7p
・参加費について	8p
参加費、キャンセルについて	
・安全管理や医療体制について	10p
主催者側が活動を中止と判断した場合、安全管理と保険、 緊急医療体制、保険証、指導者	
・持ち物について	12p
荷造りにあたり、持ってきてはいけないもののリスト、薬	
・保護者のみなさまへ	13p
毎日の活動の様子、保護者の方へお願い、個人情報保護について	
・Q & A	14p
開催プログラムコース別詳細	
・福島県内プログラム	17p
・大沼プログラム	20p
・ゆうばりプログラム in 三笠	26p
・横浜プログラム	31p
・愛媛プログラム	37p

2012 ふくしまキッズ冬のプログラム 参加者説明会

日時・会場

● 12月8日（土）

▽福島市

14:00～16:00

福島県青少年会館 大研修室

福島市黒岩字田部屋 53-5 TEL: 024-546-0002

▽郡山市

19:30～20:30

郡山市労働福祉会館 大ホール

郡山市虎丸町 7-7 TEL: 024-932-5279

● 12月9日（日）

▽いわき市

9:30～11:30

いわき市社会福祉センター 大会議室

いわき市平字菱川町 1-3 TEL: 0246-23-3320

内 容

1. 開催挨拶—各地責任スタッフ紹介 . . . 5分
2. ふくしまキッズ全体概要—選考にあたってなど . . . 15分
3. 各開催地別説明—質疑応答 . . . 40分
4. ふくしまメッセージについて . . . 10分
5. 総括質疑応答 . . . 40分
6. 閉会

2012 ふくしまキッズ冬のプログラム開催概要

ふくしまキッズ冬の活動開催に向けて

ふくしまキッズ実行委員会
委員長 進士 徹



ふくしまキッズの特別賛同人である医師・作家の鎌田 實先生からは、「子どもを夏休みや、冬休みを利用して県外に出すこと。ふくしまキッズの活動、大賛成です。」とコメントをいただいています。（ふくしまキッズホームページに掲載されています。）

今回開催する冬の活動でふくしまキッズは5回目となります。冬の参加募集は、10月22日より冬の募集が始まりました。多くの参加希望をいただきました。選考になったコースもあります。この選考をすることは、とっても大変なことなのです。第2、第3希望でも、思いきり楽しく体験できる内容に優劣はありません。この点を親御さんから、お子さんにしっかりと伝えてほしいことです。そして参加当日に向けて準備をしっかりとお願いしたいです。

参加心得その1＝体調の管理を万全にお願いします。風邪が流行する時期でもあります。日頃からの手洗い、うがいの習慣付けをお願いします。

その2＝自分のことは自分で出来ること。（衣服などの身の回りの整理整頓の訓練）

その3＝友好関係を大切にしたいです。子供同士、サポートしてくれる地域の人たち、学生ボランティア達と積極的に関わるように心がけてほしいです。

その4＝ふくしまメッセージを伝えるという重要な使命があります。原発事故を社会全体が風化する傾向にある中、日本のこと、世界のこと、また自分自身の事として受け止めなければなりません。ふくしまメッセージは日本や世界の人たちへの大切な意味のあることです。

その5＝支援金を寄せいただいていた方たちへ感謝の気持ちを今まで以上に持って参加してほしいです。支援金を送ってくれた一人一人が、みんながしっかりと成長することを期待しているのです

その6＝夢と希望と諦めない心を強く持つようにしましょう。

以上6点をお願いします。

そして実行委員会からの願いは、お子さんが福島で生まれ育ったことを胸をはって言える、品格を持った青少年になってほしいです。冬限定の内容がどのコースにも盛り込まれています。気づきや感動を一つでも多く、そして活動から心豊かに育つステップを1段1段上がってほしいと思います。この活動で子供たちの笑顔と元気を応援することに、当初からぶれることはありません。

「ふくしまキッズ冬のプログラム」基本計画

本プログラム（「ふくしまキッズ」）は、福島原発事故により、放射能汚染の深刻な影響を受けている福島の子どもたちに、せめて学校長期休暇期間に、放射能の心配をすることなく思いっきり遊び、子どもらしくのびのび過ごすことのできる環境を提供します。また同時に子どもたちの「学びと育ち」を支援する各種教育事業を実施し、多様な体験と交流を創りだすことを目的とします。

この事業計画にご賛同いただいた福島在住の子どもたちを対象に、参加費は活動の一部費用のご負担のみとし（生活保護家庭は全額無償）、選考により参加者を決定いたします。本プログラム実施にかかわる諸経費は、全国の皆さまからの支援金寄により賄います。

多くの皆さまの支援のもと本プログラムを継続的に実施することで、支援の輪を徐々に広めながら、「子どもを社会で育てる」という機運を高めていきたいと思えます。

事業実施に当たっては実行委員会を結成し、本プログラムの活動趣旨に賛同したうえで協力関係を築いていただける受け入れ地（受入協議会）と協働して運営します。



ふくしまキッズ実行委員会

委員長： 進士徹	(NPO あぶくまエヌエスネット理事長) 全体総括・福島県内活動受入れ担当
副委員長： 吉田博彦	(NPO 教育支援協会代表理事) 支援金募集・渉外・横浜受入れ担当
実行委員： 宮本英樹	(NPO ねおす理事) 北海道受け入れ担当
実行委員： 安江こずゑ	(NPO 教育支援協会北海道代表理事) 事務局担当
実行委員： 青野信久	(こどもの絆プロジェクト) 愛媛受入れ担当
実行委員： 草野竹史	(環境 NGOezorock 代表理事) 北海道ボランティアコーディネート担当
監査委員： 金野栄太郎	(公認会計士) 会計管理・決算管理担当
監査委員： 立川直樹	(あずさ監査法人) 会計管理・決算管理担当

ふくしまキッズ支援委員会

遠藤和章	(北海道公民館協会事務局長)
玄侑宗久	(作家・震災復興構想会議委員)
白石康次郎	(海洋冒険家)
ジョン・ギヤスライト	(ツリークライミングジャパン)
田口ランディ	(作家)
寺脇 研	(京都造形芸術大学教授)
戸塚 隆	(ジャーナリスト)
吉田研作	(上智大学教授)
湯川れい子	(音楽評論、作詞家)
藤田 保	(立教大教授)
中島 岳志	(北海道大学大学院法学研究科准教授)

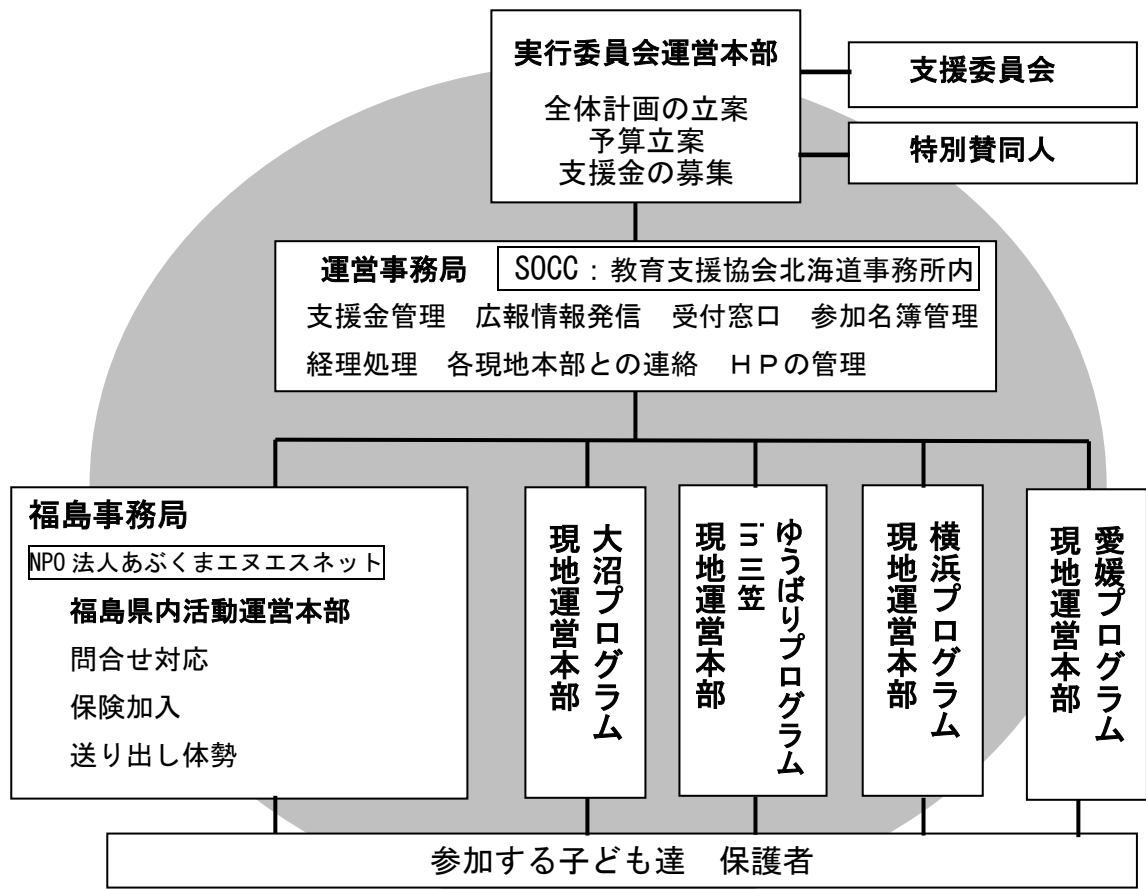
(50音順、敬称略)

ふくしまキッズ特別賛同人

秋山豊寛	(ジャーナリスト・宇宙飛行士・京都造形芸術大学教授)
荒井満	(作家・作詞作曲家)
鎌田實	(医師・作家)
小林武史	(音楽家・ap bank 代表理事)
坂本龍一	(音楽家)
辻井喬	(詩人・作家)
西田敏行	(俳優)
日野原重明	(聖路加国際病院理事長・日本音楽療法学会理事長)
細川佳代子	(NPO 法人勇気の翼インクルージョン 2012 理事長)
吉永小百合	(俳優)

(50音順、敬称略)

2012 ふくしまキッズ冬のプログラム運営全体組織図



■運営・主催・体制

主催 : ふくしまキッズ実行委員会

事務局 : 子どもを守ろうプロジェクト協議会 (SOCC)

札幌市中央区南1条西13丁目317-10 HAビル4階 (NPO教育支援協会北海道内)

TEL : 011-251-6363

北海道大沼プログラム 現地本部

大沼グリーン・ツーリズム推進協議会

北海道亀田郡七飯町東大沼294-1 NPO法人大沼駒ヶ岳ふるさとづくりセンター内

TEL : 0138-67-1726 FAX : 0138-67-1626

北海道ゆうばりプログラム in 三笠 現地本部

ゆうばりネイチャーキッズクラブ

北海道夕張市南部岳見町22番地 ゆうばり自然体験塾内

TEL : 0123-55-2211 FAX : 0123-55-2220

福島県内プログラム 現地本部

NPO法人あぶくまエヌエスネット

福島県東白川郡鮫川村赤坂東野字葉貫57

TEL : 0247-48-2508 FAX : 0247-57-5775

横浜プログラム 現地本部

NPO教育支援協会

神奈川県横浜市南区浦舟町3-4-6 浦舟複合福祉施設9階 フリースペースみなみ内

TEL : 045-243-6840

愛媛プログラム 現地本部

今治市 桜井公民館

愛媛県今治市桜井3丁目6番8号

TEL・FAX : 0898-48-0001

2012 ふくしまキッズ冬のプログラムについて

各コース日程について

冬プログラムは、福島県内、福島県外5地域にて開催いたします。

- (1) 「福島県内プログラム」：福島県（主要拠点：鮫川村）
2012年12月24日(月)～29日(土)
- (2) 「大沼プログラム」：北海道（主要拠点：七飯町大沼）
2012年12月23日(日)～12月30日(日) ※全日程参加が条件
- (3) 「ゆうばりプログラム in 三笠」：北海道（主要拠点：三笠市）
2012年12月23日(日)～12月30日(日) ※全日程参加が条件
- (4) 「横浜プログラム」：神奈川県（主要拠点：横浜市）
2012年12月23日(日)～12月30日(日)
- (5) 「愛媛プログラム」：愛媛県（主要拠点：伊予市・西予市）
2012年12月23日(日)～12月30日(日) ※全日程参加が条件

ふくしまメッセージについて

福島原発事故から今に至る心の有り様をそのまま記して欲しいです。

参加するお子さま、保護者の方から原稿用紙で別々に書き、参加当日に必ずお持ち下さい。

記していただく内容については、1～4を参考にしてください。

1. 子どもながらに感じる事。保護者の方は、福島で生きなければならない人生の選択。
2. お世話になる受け地の子ども達、地域の人達へメッセージを。
3. ふくしまキッズの活動で思うこと
4. 支援金の寄付で活動を応援してくれた方々へ向けて・・・
機会を設けて、受け地で発表していただく予定です。

ふくしまメッセージは、10年後、30年後、100年後の未来に伝える貴重なメッセージとなるはず
です。

参加費について

●参加費

福島県内プログラムを覗き交通費を含んだ金額となっています。

(期間中に「途中離団」をされる場合、離団された場所からご自宅までの交通費はお支払いいたしません。)

1) お一人、1コース参加時の費用となります。

北海道大沼プログラム

・子どもひとりにつき、3万円。

※ 幼児には同伴保護者の参加を必須とします。

幼児に同伴される保護者の参加料は3万円、滞在費を一日4,000円とします。

活動中様々なお手伝いをお願いする場合がありますことをあらかじめご了承ください。

福島県内プログラム

・子どもひとりにつき、5,000円。

※ 幼児の参加費は半額(2,500円)としますが、同伴保護者のご参加を必須とします。

同伴保護者の参加料は一泊3,000円とします。ボランティアの関わりをお願いします。

※ 障がい児の参加費は無料としますが、同伴介添者のご参加を必須とします。

同伴介添者の参加料は一泊3,000円とします。

活動中様々なお手伝いをお願いする場合がありますことをあらかじめご了承ください。

※参加期間が任意でご選択いただけるようになっています。

横浜プログラム

子ども一人につき3万円。

※ 幼児には同伴保護者の参加を必須とします。

幼児に同伴される保護者の参加料は3万円、滞在費を一日4,000円とします。

活動中様々なお手伝いをお願いする場合がありますことをあらかじめご了承ください。

※ 障がい児の参加費は無料としますが、同伴介添者のご参加を必須とします。

同伴介添者の参加料は3万円、滞在費を一日2,000円とします

活動中様々なお手伝いをお願いする場合がありますことをあらかじめご了承ください。

※参加期間が任意でご選択いただけるようになっています。活動期間途中での参加もしくはプログラム終了前の帰還を希望される場合、活動地と福島までの移動は各ご家庭でご用意ください。

また、参加費は全日程参加者と同額となります。ご了承ください。

ゆうばりプログラム in 三笠、愛媛プログラム

子ども一人につき3万円。

2) 生活保護を受給されているご家庭について：

生活保護受給者証の写しを、事務局まで提出していただく必要があります。

お一人、1コース参加時の費用となります。

- ・子ども・・・・・・・・全額無料
- ・同伴保護者・・・・・・・・(参加費) 30,000円+(滞在費) 4,000円×滞在日数

●キャンセルについて

1) キャンセルをされる場合は、メール・FAX・郵送のいずれかで必ずご連絡ください。

お電話でのキャンセルは承っておりませんので、ご了承ください。

キャンセルの際は出発日を基準とし、以下のキャンセル手数料を申受けます。

なお、返金手数料として一律 2,000 円 (振込み手数料+諸経費) を申し受けます。

大沼プログラム、ゆうばりプログラム in 三笠、福島県内プログラム、横浜プログラムはこちら

出発日の 21 日前から 9 日前まで	20%
出発日の 8 日前から 2 日前まで	30%
出発日前日	50%
出発当日以降	100%

愛媛プログラムはこちら

出発日の 16 日前から 13 日前まで	30%
出発日の 12 日前から 2 日前まで	50%
出発日前日、当日	70%

2) 事務局に書類などが到着した時点でキャンセルの受理といたします。

参加費を納入しないことはキャンセルの意思表示にはなりませんので、ご注意ください。

3) キャンセル後の返金は冬プログラムの全日程終了後 (平成 24 年 8 月 23 日以降) の処理になります。

4) 出発時に遅刻しプログラムに参加できない場合は当日キャンセルの扱いとなります。

5) 当日キャンセルの場合は、集合場所に保護者の方がおいでいただき、スタッフに伝えてください。

安全管理や医療体制について

●主催者側が活動を中止と判断した場合

- 1) 自然災害（地震・台風・大雪など）やその他の理由（インフルエンザ・開催地に深刻な被害のある場合など）により主催者側で安全にプログラムが実施を困難と判断した場合、申込書に記載いただいたご連絡先（FAX・E-mail・電話）に直接ご連絡いたします。
- 2) 道路遮断等交通事故のため、予定の運行が困難と判断しプログラムを断念する場合も同様にご連絡をいたします。
- 3) 主催者側がプログラムの中止を判断した場合、参加費より返金手数料（一律2,000円）を除いた金額をご返金いたします。プログラム開始後の自然災害など不可抗力要因により活動期日を短縮した場合にはご返金しかねますのであらかじめご承知おきください。

●安全管理

- 1) 各種活動フィールド、施設、移動手段等は、基本的に安全確認済みです。
- 2) 活動フィールドの下見と対策、リーダー研修の実施、参加者への安全教育など、危険を最小限にするための安全対策を講じ、また活動中は同様スタッフが細心の注意を払いますが、設備、備品、活動において100%事故が起きないことは保障できません。万が一に備えて主催者側で傷害保険に加入いたします。
- 3) お子さまがスタッフ等の指示に従わないために起きた事故や子ども同士の喧嘩（悪ふざけを含む）による事故、インフルエンザやアレルギー等による疾病、その他出発前、解散後の事故については、主催者は一切の責任を負いかねます。事前にご家庭でもお子さまに注意を促していただけますようお願いいたします。なお、参加者全員に保険をかけておりますので、事故によるケガにつきましては保険の範囲で対応させていただきます。

●傷害保険

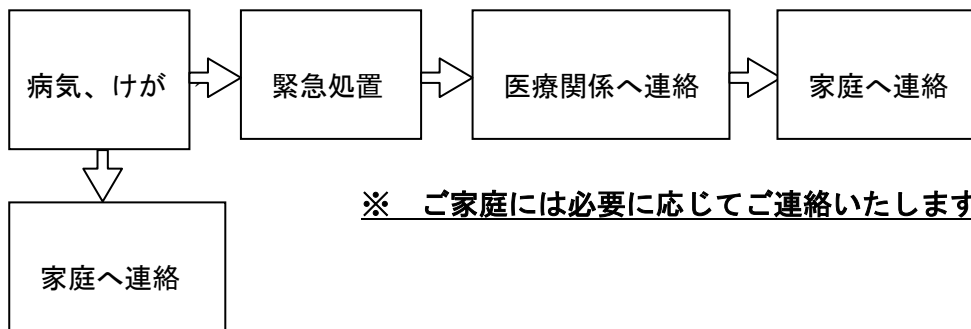
有事の際は、主催者側の過失の有無にかかわらず、当該保険の範囲で補償いたします。なお、疾病は適用外となります。

保険加入内容：日本アウトドアネットワーク野外活動包括保険

入院保険金日額：5000円／通院保険金日額：3000円／救援者費用：100万円（上限）

林間学校期間中の通院につきましては、一旦実費負担となります。また1回の通院にかかわる手配同行手数料（2,000円）も合わせてご負担いただきます。ご家庭へは後日清算させていただきます。

●緊急医療体制



※ ご家庭には必要に応じてご連絡いたします。

- 1) 主催者、及び指導者は安全確保を最優先いたしますが、参加者も自己責任をモットーに行動してください。
- 2) 傷害保険に加入しています。万一、事故がおきたときは当該保険の範囲での保証になります。ご了承ください。
- 3) 期間中の発病や不注意によって生じた事故については、主催者及び指導者は責任を負いません。
※ 病気やケガ、精神的な理由により帰宅させるのが望ましい状況になった場合は、速やかにご家庭に連絡を入れ、ご相談したうえで対応いたします。お子さまにやむをえず帰宅いただく際は、原則保護者にお迎えに来ていただきます。保護者のお迎えが困難な場合は、運営側で引率しますが、この場合実費交通費を後日ご請求させていただきます。その際参加費の返金はいませんのであらかじめご承知おきください。

●保険証

- 1) 健康保険証コピーをご提出いただきますようお願いいたします。
※健康保険証のコピーは、封筒に入れてのりづけし、封筒表に「保険証コピー」と記載、参加者（子ども）の氏名を明記しご提出ください。兄弟姉妹でご参加いただく場合でも、健康保険証のコピーは別々にご準備ください。
- 2) 病院や医師によっては、コピーした健康保険証では保険の適用を行わないことがあります。その場合には全額自己負担となりますが、後日「療養費」として払い戻しを受けることができます。

●指導者

運営本部と委託協力契約を結びます。開催受入地では、プログラム全体運営、宿泊手配、食事手配、医療環境整備など進めます。受入地で多くの協力を得ながらプログラムの指導体制を構築します。安全に子ども達が楽しく生活を送れるように支援していきます。子どもたちの生活班、活動班に直接配属され、生活面（食事、入浴、就寝、体調の管理など）から活動に至るまでの全てのプログラムについての安全管理をしていきます。

持ち物について

●荷造りにあたり

- 1) コースによりご持参いただく荷物が違います。細部ご確認をお願いいたします。
 - 2) 持ち物は、お子さまに荷造りをさせてください。準備の段階からすでに活動は始まっています。
 - 3) ご家庭で何度も荷物整理の訓練をしてください。
くれぐれも忘れ物がないようお願いいたします。
- ※ 着替えは1日ごとに袋に入れてください。お子さん本人も把握しやすいです。
- ※ **必ず所持品全てに名前を記入してください。**忘れ物を出さないためにもお願いします。
- 4) 大きな荷物（着替えなど）については事前に現地本部に送って下さい。
電車乗り継ぎなど小さなお子さんは負荷がかかります。

●持ってきてはいけないもののリスト

- ゲーム機、個人で遊べてしまうもの
- 小型携帯テレビ、ヘッドホンステレオ類
- 携帯電話、個人で連絡を取れるもの
- デジタルカメラ（使いきりカメラはお持ちになっても構いません）
- お菓子、あめ、ガム類
- 貴重品、不必要な現金（時計など高価なものやなくして困るようなもの）
- マッチ、ライター、ナイフ類

お友達と一緒に遊べるもの（トランプなど）はお持ちになっても構いません。

お荷物の紛失や、破損に伴う責任は負いかねます。本人の責任においてお取り扱いください。

●薬について

薬は、原則自己管理となります。スタッフが食後などに声かけはしますが、現在服用している薬がある場合には、事前に用法をお子さまによくご説明ください。持参する薬は普段飲み慣れているものにしてください。

特別な薬を服用する場合は、薬と処方箋をいっしょに袋に入れ、必ず名前をご記入ください。持参した薬は決して他の子どもに与えないよう、ご家庭でもお子さまにお伝えください。

保護者のみなさまへ

●毎日の活動の様子

活動最中の様子は、ふくしまキッズのホームページからご覧いただけます。

ふくしまキッズホームページ URL : <http://fukushima-kids.org/>

●保護者の方へお願い

- 1) お子さんが一時家を離れることとなります。ご家庭でも事前に勇気づける言葉をかけてください。また帰宅する日は、お出迎えをお願いします。温かい言葉をかけてください。
- 2) 荷物の準備もお子さんと一緒にしましょう（保護者だけが準備しないように）。全ての荷物に名前を記入してください。準備するところからすでに、体験プログラムが始まっています。またご家庭で、荷物の整理整頓の練習を繰り返し必ず行なって習慣づけてください。忘れ物防止対策になりますし、自己管理のできるお子さまは、どこに出かけても責任感が強くなります。
- 3) 荷物は日常使っているものを持たせてください。（新しい物は、お子さんが自分の物の認識が薄くなる傾向があります。）
- 4) 持ち物につきまして、受入地により持ち物が違います。別一覧表をご参照ください。
- 5) 持ち物の紛失、破損（汚れを含む）についての責任は負いかねますので、予めご承知おきください。
- 6) 初日のお弁当は、「おにぎり弁当」で統一します。必ず当日作るようにしてください。ゴミの減量にご配慮のほどよろしくお願いいたします。

●個人情報保護について

- 1) 参加申込情報、健康調査情報、保険証については、事務局で管理徹底します。保険証の写しは、必要な時以外には使用しません。
- 2) 参加者より取得した氏名、年齢、住所等の個人情報は事務局で管理・保管しており、参加者の同意を得た者以外の第三者に提供、開示等一切いたしません。
- 3) 今後事務局よりの各種ご案内やアンケートなどを、E-mail、郵便等により送信もしくは送付させていただく場合がございます。なお、参加者のお申し出があれば、これらの取扱いを中止することができます。
- 4) 活動期間中に撮影しました写真、ビデオなどにつきましては主催者側でHPやパンフレットなどの活動報告のために使用する場合がございますので、あらかじめご了承ください（撮影は原則主催者のみ行います）。ただし、氏名・住所等の掲載・公開は一切いたしません。
- 5) 活動期間中にテレビ、新聞などの取材がある場合もございます。その際、インタビューを受けたお子さまの氏名などが掲載される場合もございますので、あらかじめご了承ください。テレビ、新聞などの取材が開始された後に、放送、取材を拒否することは、放送局、新聞社等に損害を与えますのでお断りします。
- 6) 写真、ビデオなどの使用に際し、不都合のある方は予め事務局までご連絡ください。

Q&A

Q：4歳児がいますが、兄妹と一緒にならば親なしで参加可能ですか？

A：幼児の場合、保護者が同伴でないと精神的な問題で宿泊などができないことが多くあります。そのため、小学生の兄弟と一緒にでも、小学生未満が参加するときは、親の同伴が義務づけられています。

Q：福島県内に住所をおいてあるが、現在県外に避難しています。参加できますか？

A：「福島県内に現在でも在住」の方を対象としていますので、参加対象外となります。

Q：持病があり、自分で薬を服用したり、注射をします。その場合本人がきちんとできますが、スタッフも子どもと一緒にしてほしいのですが？

A：体調管理として、毎日健康チェック表を作るようにします。服用した薬のあき袋も持ち帰るようにします。スタッフも期間中確認する態勢でのぞみます。

Q：うちの子は9歳、6歳、3歳です。この企画を知りぜひ参加したいと思いましたが、3歳の子を残して参加させるわけにはいきません。そのため、親と同伴になると思いますが、親の参加費が一日4,000円だと金銭的にかなり厳しい人が多いと思います。そこでお願いです。親の滞在費を何とかしてもらえませんか？

A：親の負担金については、実行委員会でもかなり議論した点でした。そこで我々が出した結論は、お子様の滞在費については、全て支援金で賄うように、社会にこの事業を認知してもらい、出来るだけ多くの福島子ども達が活動に参加できるように努力しているところです。そして、一日4,000円の生活諸経費のご負担を同伴していただく親御さんをお願いする形で決まったことなのでご理解ください。決して営利目的での事業ではありません。

Q：私は小5のダウン症の息子を持つ母です。今日この案内を見て、なんてありがたいお話だろうと思いました。しかし、やはり思いっきり川遊びや砂遊びは無理だろうと思っていました。今でもビデオばかり見ている生活です。しかし、今回の林間学校は障害児の参加の趣旨が書いてあるのに感激です。ハンディがあるとなかなか集団活動には参加しにくいものですから。そこで、参加について確認したいことがあるのですが、私と一緒に年長児の次男も参加したいのですが、部屋割りはどうようになるのでしょうか？

A：一家族のみの部屋割りは難しいと考えます。ですが、一緒に参加する子どもと難しいと言う事であればこちらで協議して対応出来る努力はいたします。

Q：子どもがまだ幼いので、生活の面倒やお風呂などの時にはボランティアの方が一緒に入ったりするのでしょうか？

A：基本的に生活には学生ボランティアがつきますので、大丈夫です。ご安心ください。

Q：体の不具合はなく活発ですが、ちょっと恐がりなところがあり、プログラムを全て参加できるかわかりません。なにしろ集団生活なので心配だらけです。

A：プログラムの参加は、ある程度柔軟に考えています。出来れば、今日の体験プログラムは「参加希望の子はどうぞ」と言うようなスタイルで行きたいと考えています。この事業を多くの社会の方にこの活動を知っていただき、支援していただく事が重要だと思います。

Q：健康管理、安全管理についてはどうなっていますか？

A：体調管理については、プログラム開催中毎日『体調チェック票』を使ってその日の体調をリーダーが把握できるようにしています。

また、現地のスタッフが活動場所を事前に下見して、危険箇所の確認をしています。

Q：『おねしょ』が心配なのですが、大丈夫でしょうか？

A：環境が変わると普段心配ないお子さまでもおねしょをしてしまうことはあります。

心配な場合は健康調査書にその旨をご記入いただければスタッフが夜中に子どもを起こしてトイレに連れて行くなど対応します。やむを得ず貸出寝具を汚してしまった際、場合によってはクリーニング代を請求させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Q：雨天の場合のプログラムはどうなりますか？

A：無理はしません。長期間の滞在になります。この場合はのんびりした時間を楽しむ読書や勉強などの時間に充てます。

Q：子どもに家へ電話させたいのですが、できますか？

A：期間中ご家庭と電話連絡をとることは、お子様の自立心を育てる妨げになりますので禁止とさせていただきます。事務局からご家庭に連絡がなければ、お子さまは元気に過ごしているとお考え下さい。今回のプログラム期間中には、原則ハガキをご自宅に出すことはさせません。なお緊急時には、事務局にご連絡下さい。

Q：乗り物酔いしやすいのですが・・・

A：乗り物酔いをしやすい方は、酔い止めの薬を持たせてください。また、行きはご家庭で酔い止め薬を飲ませてください。帰りは、現地出発前にスタッフが子どもたちに酔い止め薬を飲むように伝えます。

Q：カメラを持たせてもいいですか？

A：デジカメなどの高価なカメラではなくて、使いきりカメラなら構いません。お子さま同士での思い出作りに役に立ちます。

Q：現地でお土産を買ってもいいですか？

A：お土産を買う希望があれば行きます。ただし高価な物は控えるように指導します。

Q：お小遣いはどのくらい持っていけばよいですか？

A：1000円～5000円程度でお願いいたします。お小遣いを使う場面としては、喉が渴いた際の飲み物を買う時や、お土産を買う程度です。財布は、リーダーが管理します。必要に応じて都度お子さまに手渡しします。

Q：お菓子は持っていてもいいですか？

A：福島県内プログラムを除き、原則としてお菓子は持ち込み禁止です。乗り物酔い予防のガム、あめなどは構いません。

Q：解散の時に迎えにいけません。友達の保護者に頼んでもいいですか？

A：お迎えが保護者以外の方（友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など）は、必ず事務局までご連絡を下さい。

開催プログラム コース別詳細

福島県内プログラム

1. 開催日

平成24年12月24日～12月29日

(※開催期間中の途中参加、途中帰宅も可能です。1泊2日から最長5泊6日です。)

2. プログラム内容

田舎作り体験民宿の環境で、共同生活の大切さを学びます。

子ども達の自主性、協調性、少しの我慢の力を伸ばします。

各地の活動プログラムの参加出来る基本的な自立、自己管理能力など育成していきます。

のびのびじっくり、時間に追われることなく、みんなで楽しく活動しながら体力向上を目指します。

イベント的なプログラムはありません。規則正しい生活習慣を身につけます。

全体活動は、夜の子ども会議で共通の意識で決めていきます。

日程	詳細	備考
12月 24日	11:00 集合 オリエンテーション 部屋割 午後: 昼食・フィールドワーク・役割分担・選択活動・夕食準備 夜: 夕食・日記・健康記録・明日への子ども会議・入浴・就寝	初日昼食は、自然学校で準備します。
12月 25～28日	午前: 起床・着替え・朝食・片付け・荷物整理整頓・学習タイム・選択活動 午後: 全体活動「図書館・トレーニングセンター・草原遊び」 夕食準備 夜: 夕食・日記・健康記録・明日への子ども会議・入浴・就寝	☆選択活動内容「ウォールクライミング・バスケットボール・びびり橋・ぼんた山住み家づくり」……など
12月 29日	午前: 起床・着替え・朝食・片付け・荷物整理整頓・学習タイム・選択活動 午後: 大掃除 感想文、15時解散	

具体的な内容

☆日課の係りを決めて、責任を持ちながら行います。食事準備・部屋掃除・トイレ掃除など

☆選択活動内容「ウォールクライミング・バスケットボール・びびり橋・ぼんた山住み家づくり」……など

☆全体活動「図書館・トレーニングセンター・草原遊び」

プログラム中の生活について

☆テーマ: 「大切に作る心」です。全てにおいて大切に作る心と感謝の心で関わられるようにしましょう。また積極的に自分の意見を言えるように。

3. 子どもたちの主な活動場所・宿泊場所

◇ 活動場所：あぶくまエヌエスネットフィールド

宿泊先：体験民宿WARERA元気倶楽部—田舎体験の家

〒963-8403 福島県東白川郡鮫川村赤坂東野字葉貫57

TEL：0247-48-2508 FAX：0247-57-5775

4. 運営母体

- 総責任者 進士 徹 (NPO法人 あぶくまエヌエスネット)
- 連絡先事務局機能 進士 徹 (NPO法人 あぶくまエヌエスネット)
- プログラム・安全管理責任者 石井英行 (日本アウトドアネットワーク元運営委員長)
- 医療・カウンセリングチーム 地元医療機関

運営体制について

総責任者：進士 徹 現場指揮官：石井英行

生活サポートとして学生ボランティアが24時間体制で、子供の健康管理・生活面の指導・活動運営を遂行します。子供の部屋には宿直体制でいます。

* 部屋割り・グループ編成について

2段ベットのお部屋です。新しい友だちを作るというのも大切な活動の一つですので部屋割りは、お任せ下さい。活動時のグループ編成などは、子供達の自主性を尊重します。約束は一人にならないこと。活動時間は、安全管理も含めて学生リーダーが必ず付く体制でいます。

医療機関について

- ・ 塙厚生病院 福島県東白川郡塙町大町1-5 TEL：0247-43-1145
- ・ 和田医院 福島県東白川郡棚倉町城跡3-1 TEL：0247-33-2012

5. 移動について

※ 当日何らかの理由でキャンセルする場合は、福島運営事務局へご連絡をお願いします。

6. 集合・解散について

保護者の方に、現地まで送迎をお願いします。お子さんを送り迎えしていただきます。

●集合：午前 11 時まで。 ●解散：午後 3 時まで。

■ 交通・アクセス

・いわき方面から

常磐自動車道那珂 I C 国道118—埴町—県道—国道289—県道—あぶくまエヌエスネット

・白河方面から

東北自動車道 I C 国道289—棚倉町—県道—あぶくまエヌエスネット

・福島方面から

東北自動車道須賀川 I C—国道4—福島空港—国道115—石川町

—国道349—鮫川村—ほっとはうすさめがわ看板目当て—あぶくまエヌエスネット

・郡山方面から

国道4—福島空港—国道115—石川町—国道349—鮫川村—

ほっとはうすさめがわ看板目当て—あぶくまエヌエスネット



7. 持ち物について

※荷物には全て（靴下一足、タオル1枚にも）お名前を記入するよう徹底願います。

4泊以上するお子さんについては、洗濯をする時間を確保します。

<input type="checkbox"/>	着替え：泊数分（長袖・長ズボン・靴下・下着・その他必要と思われるもの）
<input type="checkbox"/>	防水防寒服上下（暖かい冬用が良いです。）
<input type="checkbox"/>	防水防寒手袋・帽子（野球帽は寒い！）
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚
<input type="checkbox"/>	洗面用具
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット（4泊以上のお子さんのみ）
<input type="checkbox"/>	ビニール袋（レジ袋）3～4枚程度
<input type="checkbox"/>	おやつ（泊数分—1日150円程度）
<input type="checkbox"/>	使い捨てカイロ
<input type="checkbox"/>	お小遣い1000円程度
<input type="checkbox"/>	常備薬
<input type="checkbox"/>	マイお箸
<input type="checkbox"/>	マイカップ
<input type="checkbox"/>	水筒
<input type="checkbox"/>	長靴
<input type="checkbox"/>	保険証写し
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
<input type="checkbox"/>	筆記用具

- 準備については、お子さんも必ず関わるようにしましょう。
- その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします
（貴重品の紛失や破損の責任は負いません）
- この時期の朝晩の気温は、0度～2度 日中：5～12度程度



大沼プログラム

1. 開催日

平成24年12月23日（日）～12月30日（日）（全日程参加が条件）

2. プログラム内容

「冬の北海道・大沼リフレッシュキャンプ」

ふくしまキッズの定番となりつつある北海道・大沼で、多くのボランティアの方や地域の方とふれあう生活重視プログラムを展開します。雪に包まれた大沼地区に到着したら、まずはフワフワの雪で雪遊びや各種選択プログラムを楽しみます（去年は雪の中のスチームサウナ、なんてありましたね！）。温泉にゆっくりつかり、消化がよく安心・安全な北海道食材をたっぷり使った食事を食べて、みんなで寝ます。そして、大沼プログラムならではの民泊プログラム。今回は民泊を2泊3日に設定しました！ホストファミリーの方の大きな愛に包まれた、いわば「普通の冬休み」「普通の年の瀬」を過ごします。ますます円熟味を増してきた大沼のプログラムは、初めての参加の子、低学年の子にお勧めです。

活動日	活動内容	備考
12月23日	郡山・福島よりJRで移動。 JR函館駅より、バスでネイパル森へ [夜]開会式・オリエンテーション	ご家庭よりご持参いただく昼食は、おにぎり弁当へ統一します。 ごみ袋削減にご協力ください。
12月24日	[午前]ネイパル森周辺で雪あそび [夜]クリスマス風レセプション「ようこそ大沼へ！」	午後から、大沼ふるさとの森へ移動
12月25日	[午前・午後]選択プログラム①	
12月26日	[午前]荷物整理 [午後]民泊プログラム-第1日目- 対面式	(滞在先) 各ホストファミリーの家庭
12月27日	[終日]民泊プログラム-第2日目-	
12月28日	[午前]民泊プログラム-最終日- [午後～夜]温泉 ホームステイ体験の発表会	
12月29日	[午前・午後]選択プログラム② [夜]閉会式、荷物整理	
12月30日	朝食後、JRで福島・郡山へ帰還。	昼食：お弁当（手配します）

選択プログラム①	定番の雪遊びやソリ遊びだけでなく、大沼ならではのこおり遊びや山登りなど・・・長ぐつホッケーやサウナづくりも！
選択プログラム②	ボランティアと一緒に、今ここにいるみんながより仲良くなるようなプログラムを選択して活動します。 「みんなで過ごす」、その楽しさや大切さを実感します。

- ・大沼駒ヶ岳を中心とした各地域の自然素材を活用した体験活動を行います。
- ・子どもたちは身の回りの事は、できる限り自分でしていただきます。学生ボランティアは基本的には見守り、必要に応じて補助をします。
- ・「生活時間」とは、洗濯や身の回りの整頓などの時間です。
- ・12月26日～28日は、「民泊（ホームステイ）」プログラムです。大沼周辺の地域の方にホストファミリーとなっていただき、3～4名に分かれて宿泊をさせていただきます。グループや宿泊先は、子どもたちやホストファミリーの意向を参考にしつつ、受け入れ本部で決定します。

具体的な内容

集団宿泊体験／合宿スタイルによる宿泊 集団での食事 身の回りの整理、片付け、洗濯
 自然体験/雪を使った選択プログラム（雪遊び、氷あそび、ソリ、長ぐつホッケー、冬山登山など）
 民泊／ホストファミリーの家での生活・宿泊体験

プログラム中の生活について**■テーマ：**

子どもが子どもらしく伸び伸び過ごし、互いに協力し合い、楽しく生活を創りあげ、自分の事は自分でできるように努力していきましょう。約束ごとは現地に着いてからリーダーと決めて行きます。

基本的な生活スタイル

6:00	起床
7:30	朝食
・・・	生活の時間（身支度、清掃、洗濯など）・・・
9:00	午前の活動（体験活動、自由時間）
12:00	昼食
13:00	午後の活動（体験活動、自由行動）
・・・	生活の時間（入浴、休憩、清掃など）・・・
18:00	夕食
19:00	プログラムに合わせた時間（ミーティング、準備、グループタイムなど）
21:00	就寝 スタッフ会議

片付けをする時間、掃除をする時間など、十分に持つようにします。

学生ボランティアが常に共有しますので、ご安心下さい。。

3. 子どもたちの主な活動場所・宿泊場所

・12月23日

ネイパル森 北海道茅部郡森町駒ヶ岳657-15 TEL：01374-5-2110

・12月24日～26日、28日～30日

大沼ふるさとの森自然学校 北海道亀田郡七飯町字東大沼294-1 TEL：0138-67-1726

4. 運営母体

- 総責任者 上田 融 (NPO法人ねおす理事)
- 連絡先事務局 菊地 敏孝 (大沼ふるさとの森自然学校事務局長)
- プログラム・安全管理責任者 穴澤 剛行 (大沼ふるさとの森自然学校事業部長)
高野 克也 (NPO法人ねおすディレクター) 高橋 諭子 (大沼ふるさとの森自然学校ディレクター)
- 医療・カウンセリングチーム
函館小児科医会、地元医療機関(大沼公園クリニック、あぜ(野畔)の花クリニック
はるこどもクリニック小児科・小児神経科、函館夜間救急センター)

運営体制について

ディレクター(3名)の下、ボランティアの方々と協力して子どもたちの活動をサポートします。安全管理や体調管理の都合、選択プログラムの定員等の関係から、現場にあわせたグループを作ることもあります。基本的には「全員で全員を見守る」という姿勢で子どもたちと過ごします。

* 部屋割り・グループ編成について

新しい友だちを作るといいうのも大切な活動の一つですので部屋割り・グループ編成はこちらにお任せください(期間途中にお部屋割を替える事もあります)。既存の子どもたちの関係性に固執せず、新しい環境ではじめて会った仲間と人間関係を築くことは、お子さんにとってリフレッシュを促すよい方法の一つです。趣旨をご理解いただきご協力のほどお願いいたします。

医療機関について

函館小児科医会

(地元医療機関)

- | | |
|----------------------|----------------------------------|
| ・大沼公園クリニック | 亀田郡七飯町字大沼町258 TEL:0138-67-3032 |
| ・あぜ(野畔)の花クリニック | 亀田郡七飯町字大沼町322-3 TEL:0138-67-5111 |
| ・はるこどもクリニック小児科・小児神経科 | 亀田郡七飯町本町6丁目7-42 TEL:0138-65-0500 |
| ・函館夜間救急センター | 函館市白鳥町13-32 TEL 0138-30-1199 |

5. 移動について

JR・バス

集合・解散：郡山市／福島市

6. 往路について

出発までの流れ

【集合時間】

(郡山市) 8:00受付開始、8:37出発 (福島市) 9:40受付開始、10:12出発

■到着場所：ネイパル森 北海道茅部郡森町駒ヶ岳657-15 TEL：01374-5-2110

- ① 集合前にトイレを済ませておいて下さい。出発時刻の30分前に受付開始します。くれぐれも遅刻の無いよう時間に余裕を持ってお出かけ下さい。
- ② スタッフが郡山・福島集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。
- ③ 出発時刻の15分前までに名前のチェックを終えてください。

※多人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方はお出で頂き直接スタッフに申し伝えて下さい。電話連絡は受け付けることは出来ません。ご注意願います。

乗車前の注意事項

☆ 手荷物は車内に持ち込む荷物デイパック（お弁当、水筒、保険証のコピー、衛生用品）程度にしましょう。

☆ 乗り物酔いをしやすい方は事前に酔い止めの薬をお飲みください。

座席について

座席は指定席です。スタッフが号車と座席のおよその場所を示しますので、スタッフの指示に従って列車に順序良く乗りこみ、空いている席に座ってください。乗り込んだ後に席を決めます。

7. 復路について

【JR到着予定時間】

(福島市) 17:06到着予定 (郡山市) 16:37到着予定

解散のながれ

スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。

※お迎えが保護者以外の方（友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など）は、必ず事務局までご連絡を下さい。

8. 集合・解散場所について

郡山駅集合場所地図

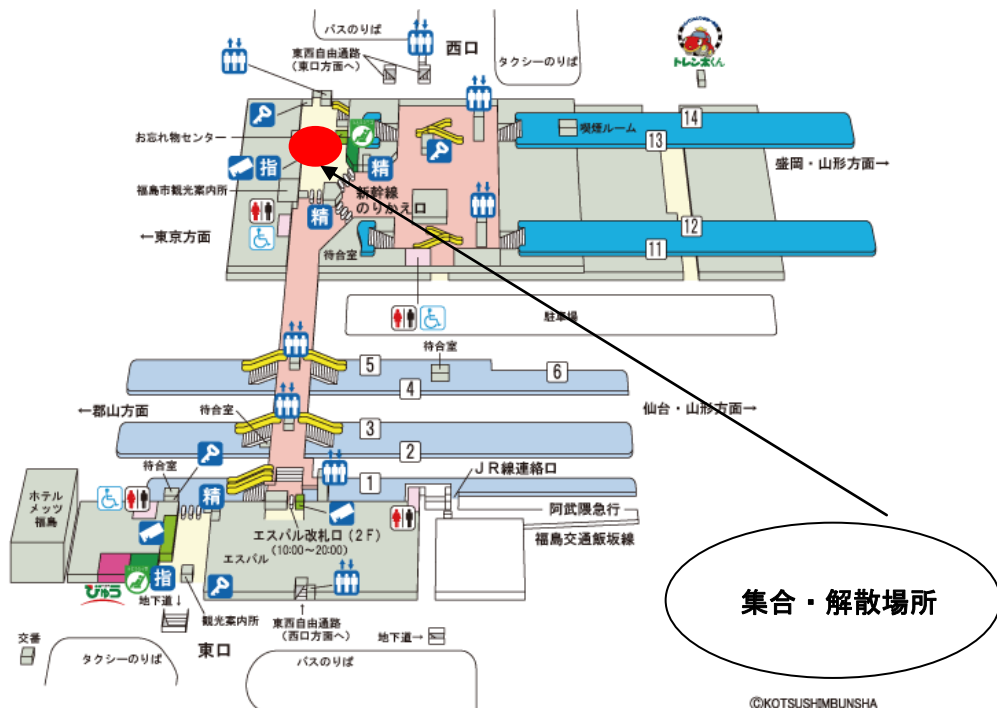


JR郡山駅2階に、新幹線改札があります。

改札の前に通路があり、その中央部のスペースが集合場所です。

※当日の駅の状況により場所を多少変更する場合があります。

福島駅集合場所地図



JR福島駅の2階に西口改札があります。階段を上がってすぐのスペースが集合場所です。

※当日の駅の状況により、西口改札の階段から降りてすぐの駅玄関前(外側)に場所を多少変更する場合があります。

9. 持ち物について

■大荷物リスト

※荷物には全て（靴下一足、タオル1枚にも）お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	旅行用かばん（移動が多々あります。段ボール、衣装ケースは不可）	
<input type="checkbox"/>	着替え（長袖・長ズボン・長袖ジャージ上下）	
<input type="checkbox"/>	防寒着（ 分厚いセーター・フリースは必ず1枚は入れてください。）	
<input type="checkbox"/>	洗面用具, シャンプー、リンス	
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚～3枚	
<input type="checkbox"/>	雪遊び用防寒手袋（防寒用ゴム手袋が最適）※濡れた時の予備も含めて2つお持ちください	
<input type="checkbox"/>	防寒具（毛糸の帽子、手袋など）	
<input type="checkbox"/>	スキーウェア上下 （防水防寒の機能のある服） ※朝夕は0度を下回る場合もあります。	
<input type="checkbox"/>	長靴又はスノーシューズ	
<input type="checkbox"/>	ビニール袋（レジ袋）3から4枚程度	
<input type="checkbox"/>	懐中電灯・ヘッドランプ（予備電池）	
<input type="checkbox"/>	バスタオル	
<input type="checkbox"/>	枕（枕の代わりになるもの）	
<input type="checkbox"/>	冬休みの課題学習（必要であれば）	
■当日手荷物用・サブザック		
<input type="checkbox"/>	初日昼食のおにぎり弁当！！	
<input type="checkbox"/>	水筒	
<input type="checkbox"/>	保険証写し	
<input type="checkbox"/>	列車内を楽しく過ごせるアイテム	
<input type="checkbox"/>	筆記用具	
<input type="checkbox"/>	常備薬（必要な子）	
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋	
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ	

その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします（貴重品の紛失や破損の責任は負いません）

■ 大荷物送り先住所

〒049-2141 北海道茅部郡森町駒ヶ岳 657-15
 ネイパルの森 TEL : 01374-5-2110

☆お荷物郵送にあたっての注意とお願い☆

※配送業者に荷物の到着日を「12月24日(月)必着」とご指定ください。

※配送は、往復宅急便でお願いします。無理な方は復路着払い伝票記入の上ご持参ください。

※伝票には、保護者の方の名前のならびに、必ず「参加するお子様の名前」をご記入ください。

ゆうばりプログラム in 三笠

1. 開催日

平成24年12月23日～12月30日（全日程参加が条件）

2. プログラム内容

活動場所は北海道三笠市で、8日間過ごします。12月の北海道の気候をいかしたプログラムを行います。雪が積もれば、雪を使った「雪のプログラム」でめいっぱい遊んでいただきたいと思います。今回は宿泊場所が三笠です。三笠はアンモナイトの化石で有名ですので化石博物館などにも行きます。

24日はせっかくのクリスマス・イヴなので、自分たちで飾り付けしたりケーキを作り、夜にホワイトクリスマスパーティーをして楽しみたいと思います！

是非雪の多い北海道の冬をみんなで満喫しましょう！！

活動日	活動内容	
12月23日	JRで移動 19:00?三笠到着 ・クラフト(名札づくり)	<ul style="list-style-type: none"> ・雪を利用した自然体験を行います。 ・子どもたちには身の回りの事は、できる限り自分でしていただきます。学生ボランティアは補助をします。 ・本州と違い寒いので、暖かい服装・スキー用手袋・帽子などのご用意をお願いいたします。外で遊ぶためのスキーウェアと長靴はこちらで用意いたします。 ・雪があまり積もっていない場合は、プログラムの予定を変更する可能性があります。
12月24日	[午前]アイスブレイク [午後]外遊び・クリスマスパーティー	
12月25日	[午前]雪遊び [午後]かんじきづくり&かんじきハイク	
12月26日	[午前]クラフト(絵はがきづくり) [午後]化石博物館見学	
12月27日	[午前]うどんづくり [午後]自由遊び	
12月28日	[午前]自由遊び [午後]スノーキャンドル	
12月29日	[午前]自由遊び [午後]北海道料理クッキング	
12月30日	JRで移動	

具体的な内容

冬の森探検／しりすべり／雪遊び／キャンドルづくり／アイスづくり／ホワイトクリスマスパーティー／アンモナイトの博物館見学、など

プログラム中の生活について

☆テーマ： 北海道の自然の中でのびのびと過ごし、自分のことは自分でやり、お互いに協力し合い、みんなが楽しい生活をおくれるようにしよう！

基本的な生活スタイル

- 7:00 起床
- 8:00 朝食
- ・・・生活の時間（身支度、清掃、洗濯など）・・・
- 9:00 午前の活動（体験活動、自由時間）

12:00	昼食
13:00	午後の活動（体験活動、自由行動）
	・・・生活の時間（入浴、休憩、洗濯、清掃など）・・・
17:00	夕食
19:00	プログラムに合わせた時間（学習、準備、グループタイムなど）
21:00	就寝 スタッフ会議

洗濯をする時間、掃除をする時間など、充分に持つようにします。
学生ボランティアが常に共有しますので、ご安心下さい。

3. 子どもたちの主な活動場所・宿泊場所

北海道教育大学岩見沢校 幌内自然体験学習研究施設
 北海道三笠市幌内北星町346番地 TEL：01267-2-3344

4. 運営母体

- 総責任者・プログラムディレクター
 多々見ゆりか（ゆうばり自然体験塾・h_nesc）
 - 連絡先事務局機能 能條 歩（北海道教育大学・h_nesc）
 - 安全管理責任者 能條 歩（北海道教育大学・h_nesc）
 - 医療・カウンセリングチーム 地元医療機関
- ※h_nesc はNPO法人北海道自然体活動サポートセンターの略です。

運営体制について

ディレクター（2名）の下、各6名程度のグループに分かれて生活ならびに行動をします。
 各グループには大学生ボランティアが1名つきます。

* 部屋割り・グループ編成について

新しい友だちを作るといっても大切な活動の一つですので部屋割り・グループ編成はこちらにお任せください。（期間途中にお部屋割を替える事もあります）新しい環境ではじめて会った仲間と人間関係を築くこともお子さんにとっては貴重な体験になりますので、趣旨をご理解いただきご協力のほどお願いいたします。

医療機関について

三笠市立総合病院 〒068-2194 北海道三笠市宮本町489-1
 電話 01267-2-3131 FAX 01267-2-2493

5. 移動について

バス、JR
 集合・解散：郡山市／福島市

6. 往路について

出発までの流れ

【集合時間】

(郡山市) 8:00受付開始、8:37出発 (福島市) 9:40受付開始、10:12出発

●到着場所：北海道教育大学岩見沢校 幌内自然体験学習研究施設

●想定移動時間：8時間半ほど ●現地到着予定時間：19:00

内訳：福島駅から岩見沢駅までJRで約8時間、北海道三笠市までバスで約30分

- ① 集合前にトイレを済ませておいて下さい。 出発時刻の30分前に受け付け開始します。くれぐれも遅刻の無いよう時間に余裕を持ってお出かけ下さい。
 - ② スタッフが郡山・福島集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。
 - ③ 出発時刻の15分前までに名前のチェックを終えてください。
- ※人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。
※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方はお出で頂き直接スタッフに申し伝えて下さい。電話連絡は受け付けることは出来ません。ご注意願います。

乗車前の注意事項

☆ 手荷物は車内に持ち込む荷物デイパック（お弁当、水筒、保険証のコピー、衛生用品）程度にしましょう。

☆ 乗り物酔いをしやすい方は事前に酔い止めの薬をお飲みください。

座席について

バス座席は自由ですが、前列は具合の悪い子どもが出た場合の席ですので空けます。

スタッフの指示に従って順序良く乗りこみ、とりあえず空いている席に座ってください。

7. 復路について

【JR到着予定時間】

(福島市) 17:06到着予定 (郡山市) 16:37到着予定

●想定移動時間：8時間半ほど

内訳：北海道三笠市から岩見沢駅までバスで約30分、岩見沢駅から福島駅までJRで約8時間

解散のながれ

スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。

※お迎えが保護者以外の方（友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など）は、必ず事務局までご連絡を下さい。

8. 集合・解散場所について

郡山駅集合場所地図

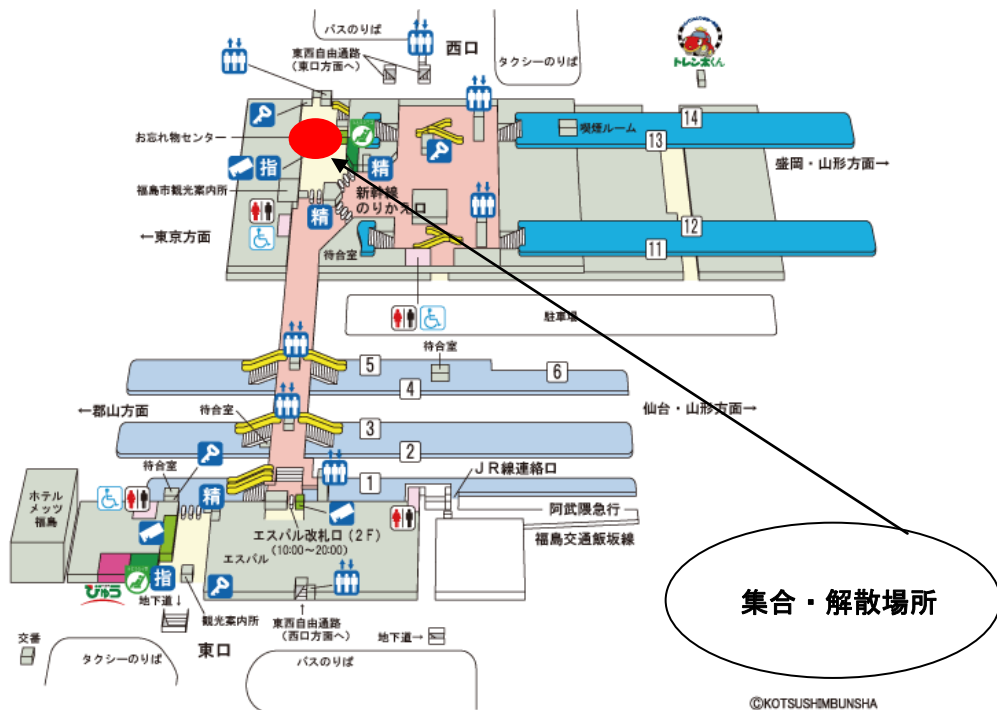


JR郡山駅2階に、新幹線改札があります。

改札の前に通路があり、その中央部のスペースが集合場所です。

※当日の駅の状況により場所を多少変更する場合があります。

福島駅集合場所地図



JR福島駅の2階に西口改札があります。階段を上がってすぐのスペースが集合場所です。

※当日の駅の状況により、西口改札の階段から降りてすぐの駅玄関前(外側)に場所を多少変更する場合があります。

9. 持ち物について

■大荷物リスト

※荷物には全て（靴下一足、タオル1枚にも）お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	移動で使用するカバン（背中や肩にかけられるタイプ）※リュックサックが最適	
<input type="checkbox"/>	7泊分の着替え（長袖・長ズボン・長袖ジャージ上下・下着）※洗濯は適宜可能です	
<input type="checkbox"/>	フリースなどの防寒着（寒いので必ず持たせてください）	
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚～3枚	
<input type="checkbox"/>	バスタオル又はスポーツタオル ※小さめのもの2枚	
<input type="checkbox"/>	帽子（冬用）、スキー用手袋、 マフラー又はネックウォーマー	
<input type="checkbox"/>	洗面用具、石けん、シャンプー、リンス	
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット、洗濯ばさみ	
<input type="checkbox"/>	ビニール袋（レジ袋）3～4枚程度	
<input type="checkbox"/>	懐中電灯 ヘッドランプが望ましい。 （予備電池）	
<input type="checkbox"/>	日焼け止め（必要に応じて）	
<input type="checkbox"/>	カップ	
<input type="checkbox"/>	マイカップ（お茶など飲むときに使います）	
<input type="checkbox"/>	使い捨てカイロ	
<input type="checkbox"/>	上靴	
<p>※スキーウェア等の雪あそびのできるアウター上下はこちらで用意しますので、必ずアウターのサイズ（150、160など）と長靴のサイズをご連絡ください。</p> <p>■当日手荷物用・サブザック</p>		
<input type="checkbox"/>	初日昼食のおにぎり弁当！！	
<input type="checkbox"/>	水筒（保温できるもの）	
<input type="checkbox"/>	保険証写し	
<input type="checkbox"/>	列車内を楽しく過ごせるアイテム	
<input type="checkbox"/>	筆記用具	
<input type="checkbox"/>	常備薬（必要な子）	
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋	
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ	
<p>その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします（貴重品の紛失や破損の責任は負いません）</p>		



■大荷物送り先住所

北海道教育大学岩見沢校 幌内自然体験学習研究施設
北海道三笠市幌内北星町346番地
TEL：01267-2-3344

※配送業者に荷物の到着日を「12月22日（土）・23日（日）のみ」とご指定ください（この日以外は担当者がおりませんので受け取りできません）。

※往復宅急便でお願いします。無理な方は復路着払い伝票記入の上ご持参ください。

横浜プログラム

1. 開催日

平成24年12月23日（日）～12月30日（日）

2. プログラム内容

【横浜の街体験】

活動場所は横浜市を中心に横浜の町と人を満喫する8日間です。宿泊場所の横浜市金沢区野島は海に面した場所で、海辺の環境を生かした生活を体験していただきます。活動の中では三浦半島まで出かけて、海辺散策や海辺の活動を行ったり、横浜の色々な観光施設も訪ねます。

昨年の横浜プログラムで一番人気だった「横浜八景島シーパラダイス」では一日遊ぶプログラムや、だがしや楽校を行います。また、地元の人たちとの交流を育むために、横浜の子どもたちと一緒に活動し、「子ども熟議」で話し合い、仲間の輪を広げて帰ってほしいと思います。

活動日	活動内容	備考
12月23日	バスで移動 福島ー郡山経由 15:00横浜到着 ・チームビルド、計画作成	バスは愛媛へ行く子供たちと一緒に羽田まで行き、羽田を経由して横浜に参ります。
12月24日	[午前]選択活動(☆1) [午後]ベイスайд・クリスマスパーティー	宿泊は横浜市野島青少年センター
12月25日	[午前・午後]選択活動(☆1)	
12月26日	[午前・午後]集団活動(スポーツ、ゲームなど)	
12月27日	[午前・午後]だがしや楽校(☆2) & 子ども熟議	26日～28日は横浜の子どもたちと交流・宿泊プログラムとして行います
12月28日	[午前・午後]遊園地観光 (八景島シーパラダイス)	
12月29日	[午前・午後]横浜体験ウォークラリー (例)みなとみらい地区→中華街→山下公園など [夕方]お別れ会	この日から宿泊はフリースペースみなみ
12月30日	昼食後、バスで福島へ帰還 →郡山・福島へ	バスは愛媛からの子供たちを羽田で引き受け、羽田を経由して福島に参ります。
選択活動(☆1)について	現在予定している以下の活動の中から子どもたちが選びます 1 街角探検(アンパンマンミュージアム・マリントワー・赤レンガ倉庫・中華街・みなとみらいなど) 2 社会見学(カップヌードルミュージアム・子供科学館・歴史博物館・リサイクル施設見学・など) 3 協力団体企画(JAXA見学・東京スカイツリー見学・お台場科学館見学など)への参加 4 三浦半島海洋自然体験活動(この企画は自由参加です)	
だがしや楽校(☆2)について	だがしや楽校とは・・・ 子どもたちは横浜プログラムの中で色々な活動やお手伝い、奉仕活動を行って、それで手に入れた「エコマネー」でお買い物できる駄菓子屋さんが開店されます。	

具体的な内容

活動プログラム（以下の活動の中から子どもたちが選びます）

1. 街角探検（アンパンマンミュージアム・マリントワー・赤レンガ倉庫・中華街・みなとみらいなど）
2. 社会見学（カップヌードルミュージアム・子供科学館・歴史博物館・リサイクル施設見学・など）
3. 協力団体企画（JAXA見学・東京スカイツリー見学・お台場科学館見学など）への参加
4. 三浦半島海洋自然体験活動（この企画は自由参加です）

プログラム中の生活について

☆テーマ： 子どもが子どもらしく伸び伸び過ごし、互いに協力し合い、楽しく生活を創りあげ、自分の事は自分でできるように努力していきましょう。 約束ごとは現地に着いてからリーダーと決めて行きます。

基本的な生活スタイル

6:00	起床
7:00	朝食
・・・	生活の時間（身支度、清掃、洗濯など）・・・
9:00	午前の活動（体験活動、自由時間）
12:00	昼食
13:00	午後の活動（体験活動、自由行動）
・・・	生活の時間（入浴、休憩、洗濯、清掃など）・・・
18:00	夕食
19:00	プログラムに合わせた時間（ミーティング、準備、グループタイムなど）
21:00	就寝 スタッフ会議

洗濯はボランティアが行います。

3. 子どもたちの主な活動場所・宿泊場所

12月26日～12月28日までは、横浜の子ども達も参加して、一緒に生活をします。

■12月23日～27日

横浜市野島青少年研修センター

〒236-0025 横浜市金沢区野島町24-2 野島公園内

TEL : 045-782-9169 FAX : 045-701-9599

（アクセス）

- ・金沢シーサイドライン 「野島公園」駅より徒歩8分
- ・京浜急行「金沢八景」駅より徒歩20分

※センターには利用者用の駐車場がありませんので、車での来所はご遠慮ください。

■12月28日～30日

横浜フリースペースみなみ

〒232-0024 横浜市南区浦舟町3-46 フリースペースみなみ内 TEL : 045-243-6840 FAX : 045-243-6841

（アクセス）

- ・横浜市営地下鉄「阪東橋」駅より徒歩8分
- ・京浜急行「黄金町」駅より徒歩10分

4. 運営母体

- 総責任者 吉田博彦（教育支援協会）
- 連絡先事務局機能 沖田幸一（教育支援協会）
- プログラム・安全管理責任者 水本和宏（教育支援協会）
- 医療・カウンセリングチーム 地元医療機関

運営体制について

ディレクター（2名）の下、各8名程度の5つのグループに分かれて行動をします。各グループには大学生ボランティアが2名つき、地元ボランティアが補助をいたします。

* 部屋割り・グループ編成について

新しい友だちを作るということも大切な活動の一つですので部屋割り・グループ編成はこちらにお任せください。（期間途中にお部屋割を替える事もあります）新しい環境ではじめて会った仲間と人間関係を築くこともお子さんにとっては貴重な体験になりますので、趣旨をご理解いただきご協力のほどお願いいたします。

医療機関について

- ・ 医療法人社団景翠会金沢病院 横浜市金沢区泥亀2-8-3 TEL : 045-781-2611
- ・ 金沢区休日急患診療所 横浜市金沢区金沢町4 8 TEL : 045-782-8785

5. 移動について

初日・最終日：バスで往復 集合・解散：郡山市／福島市

※途中参加・途中帰還される場合は、各ご家庭で移動手段は手配下さい。

6. 往路について

出発までの流れ

郡山発は郡山ビックパレット、福島発は福島駅イトーヨーカドー横とし、貸切バスで移動する。

【集合】

【福島出発】12月23日8時00分に福島駅イトーヨーカドー横に集合(ふくしまキッズの旗が目印)

【郡山出発】12月23日9時00分に郡山ビックパレットに集合(ふくしまキッズの旗が目印)

愛媛プログラムの参加者とともに乗車し、羽田空港で愛媛組を降ろして、横浜へ向かう。

●想定移動時間：5時間ほど

- ① 集合前にトイレを済ませておいて下さい。 出発時刻の30分前に受付開始します。くれぐれも遅刻の無いよう時間に余裕を持ってお出かけ下さい。
- ② スタッフが郡山・福島集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。
- ③ 出発時刻の15分前までに名前のチェックを終えてください。

※多人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方はお出で頂き直接スタッフに申し伝えて下さい。電話連絡は受け付けることは出来ません。ご注意願います。

乗車前の注意事項

☆ 手荷物は車内に持ち込む荷物デイパック（お弁当、水筒、保険証のコピー、衛生用品）程度にしましょう。

☆ 乗り物酔いをしやすい方は事前に酔い止めの薬をお飲みください。

座席について

バス座席は自由ですが、前列は具合の悪い子どもが出た場合の席ですので空けます。

スタッフの指示に従って順序良く乗りこみ、とりあえず空いている席に座ってください。

7. 復路について

郡山発着は郡山ビックパレット、福島発着は福島駅イトーヨーカドー横とし、貸切バスで移動する。

【復路】

【横浜発】12月30日13時00分に1台のバスで横浜・フリースペースみなみを出発し、

郡山ビックパレット(到着目標時間18時)で郡山組を降ろして、

福島駅イトーヨーカドー横(到着目標時間19時)に到着。到着時間はブログにて状況をお知らせします。

●想定移動時間：5時間ほど

解散のながれ

スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。

※お迎えが保護者以外の方(友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など)は、必ず事務局までご連絡を下さい。

※年末年始で道が混み合う可能性があります。バスの運行状況についてはブログを更新いたしますので当日は必ずブログのチェックをよろしく願いいたします。

8. 集合・解散場所について

【郡山】ビックパレットふくしま

【福島】福島駅（イトーヨーカドー福島店横）

【郡山】ビックパレットふくしま集合・解散場所 地図



ビックパレットふくしま 建物の西側に面したところが集合場所です。

【福島】福島駅前イトーヨーカドー集合・解散場所 地図



JR郡山駅 西口前にバス乗り場があります。

バス乗り場と駅の間にある、駅前スペースが集合場所です。

バスは西口正面にあるイトーヨーカドー福島店前の高速バス乗り場より出発します。

9. 持ち物について

■大荷物リスト

※荷物には全て（靴下一足、タオル1枚にも）お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	移動で使用するカバン（背中や肩にかけられるタイプ）※リュックサックが最適
<input type="checkbox"/>	7泊分の着替え（長袖・長ズボン・長袖ジャージ上下）※洗濯は適宜可能です
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚～3枚
<input type="checkbox"/>	バスタオル又はスポーツタオル※小さめのもの2枚
<input type="checkbox"/>	帽子
<input type="checkbox"/>	洗面用具、シャンプー、リンス
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット、洗濯ばさみ
<input type="checkbox"/>	ビニール袋（レジ袋）3～4枚程度
<input type="checkbox"/>	懐中電灯 ヘッドランプが望ましい。（予備電池）
<input type="checkbox"/>	虫除け、かゆみ止め、日焼け止め（必要に応じて）
<input type="checkbox"/>	カップ

■当日手荷物用・サブザック

<input type="checkbox"/>	初日昼食のおにぎり弁当！！
<input type="checkbox"/>	水筒
<input type="checkbox"/>	保険証写し
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	常備薬（必要な子）
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします（貴重品の紛失や破損の責任は負いません）	

■ 大荷物送り先住所

横浜市野島青少年研修センター

- 住所 〒236-0025 横浜市金沢区野島町 24-2 野島公園内
電話：045-782-9169

※配送業者に荷物の到着日を「12月23日(日)必着」とご指定ください。

往復宅急便でお願いします。無理な方は復路着払い伝票記入の上ご持参ください。

愛媛プログラム

1. 開催日

平成24年12月23日～12月30日（全日程参加が条件）

2. プログラム内容

【瀬戸内の海と山】愛媛 伊予市・西予市コース

活動場所は愛媛県伊予市と西予市、県内中央部から南部を中心とした地域で過ごす8日間です。12月でも暖かい瀬戸内の気候を活かしたプログラムを行います。

プログラム前半の伊予市では、クリスマスのイベントと地域の特産品を使った交流体験をしていただきます。伊予市名物のじゃこ天作り体験やそば打ち体験、県内最古の現役木造校舎の小学校の子ども達との交流事業なども予定しています。

後半は西予市に移動し、愛媛ならではのミカン狩りやZ-1グランプリ、相撲体験やチャンコ作りを通しての地域の方々との交流事業を予定しております。

愛媛県内の2つの地域の活動を通して、多様性に富んだ愛媛の自然・文化・産業等を満喫してください！

活動日	活動内容	備考
12月23日	バスで移動 福島ー郡山経由 伊予市到着 ・チームビルド、計画作成 ・歓迎行事	[昼食]バス車内でとりますので、各家庭でご準備下さい。 ※内容はおにぎり弁当に統一願います。
12月24日	[午前]生活体験(食事作り・洗濯・掃除・学習) [午後]クリスマスパーティー	(クリスマスパーティー)市内の小学生と合同でクリスマスイベントを行ないます。
12月25日	[午前]生活体験(食事作り・洗濯・掃除・学習) [午後]石窯ピザ作り、日本一の夕日の観賞会	
12月26日	[午前]生活体験(食事作り・洗濯・掃除・学習) [午後]市内の子ども達と交流	そば打ち体験・イチゴ狩り
12月27日	[午前]八幡浜ちゃんぼん作り(～昼食) [午後]みかん狩り	(ちゃんぼん作り)伊予市から西予市への移動途中の八幡浜市で地域の方々と一緒に名物「八幡浜ちゃんぼん」作りを体験します。
12月28日	[午前]ハマチのえさやり [午後]Z-1グランプリ クアテルメ宝泉坊で温泉プール運動	クアテルメ宝泉坊という施設で温泉プールで運動を行いますので、水着の準備をお願いします。
12月29日	[午前]ソーセージ作り [午後]乙亥会館での相撲体験	(乙亥会館相撲体験)では西予市の小学生と一緒に相撲体験を行った後に、地元の方々とチャンコを作り、お別れ会を行います。
12月30日	西予市からバスで松山空港まで移動 →松山空港から飛行機で羽田空港 →羽田空港からバスで郡山・福島へ帰還	

- ・愛媛の地域の特性を活かした様々な体験活動を行います。
- ・子どもたちは身の回りの事は、できる限り自分でしていただきます。学生ボランティアが補助をします。
- ・「生活時間」とは、洗濯や身の回りの整頓などの時間です。
- ・12月27日～12月30日までは、地元の子供も達も参加して、一緒に生活をします。

具体的な内容

集団宿泊体験／クリスマスイベント／じゃこ天作り体験／そば打ち体験／イチゴ狩り／ミカン狩り／Z-1グランプリ（ぞうきんがけグランプリ）／ソーセージ作り／相撲体験／チャンコ作り体験など

プログラム中の生活について

☆テーマ： 子どもが子どもらしく伸び伸び過ごし、互いに協力し合い、楽しく生活を創りあげ、自分の事は自分でできるように努力していきましょう。 約束ごとは現地に着いてからリーダーと決めて行きます。

洗濯をする時間、掃除をする時間など、十分に持つようにします。学生ボランティアが常に共有しますので、ご安心ください。

基本的な生活スタイル

7:00 起床

8:00 朝食

・・・生活の時間（身支度、清掃、洗濯など）・・・

10:00 午前の活動（体験活動、自由時間）

12:00 昼食

13:00 午後の活動（体験活動、自由行動）

・・・生活の時間（入浴、休憩、洗濯、清掃など）・・・

18:00 夕食

19:00 プログラムに合わせた時間（ミーティング、準備、グループタイムなど）

21:00 就寝 スタッフ会議

3. 子どもたちの主な活動場所・宿泊場所

- ◇ 伊予市 潮風ふれあいの館 愛媛県伊予市双海町高岸甲869-2 TEL : 089-986-1559
- ◇ 西予市 きゃんぱ 愛媛県西予市明浜町高山甲461-1 TEL : 0894-64-1330
- ◇ 宝泉坊ロッジ 愛媛県西予市城川町高野子46 TEL : 0894-83-0151

4. 運営母体

- 総責任者 青野 信久（こどもの絆プロジェクト）
- 連絡先事務局機能 赤石 雅俊（こどもの絆プロジェクト）
- プログラム・安全管理責任者 中村 忠史（こどもの絆プロジェクト）
- 医療・カウンセリングチーム 地元医療機関

運営体制について

ディレクター（3名）の下、各6名程度のグループに分かれて生活ならびに行動をします。各グループには大学生ボランティアが1名つき、地元ボランティア等が補助をいたします。

* 部屋割り・グループ編成について

新しい友だちを作るというのも大切な活動の一つですので部屋割り・グループ編成はこちらにお任せください。（期間途中にお部屋割を替える事もあります）新しい環境ではじめて会った仲間と人間関係を築くこともお子さんにとっては貴重な体験になりますので、趣旨をご理解いただきご協力のほどお願いいたします。

医療機関について

- ・ たけます診療所 愛媛県伊予市双海町上灘甲5350-16 TEL : 089-986-0909
- ・ 西予市立宇和病院 愛媛県西予市宇和町卯之町一丁目246番地1 TEL : 0894-62-1121
- ・ 西予市立野村病院 愛媛県西予市野村町野村9-53 TEL : 0894-72-0180

5. 移動について バス、飛行機 集合・解散：郡山市／福島市

6. 往路について

〔福島出発〕 12月23日8時に福島駅イトーヨーカドー横に集合（ふくしまキッズの旗が目印）

〔郡山出発〕 12月23日9時に郡山ビックパレットに集合（ふくしまキッズの旗が目印）

横浜プログラムの参加者とともに乗車。

出発までの流れ

●到着場所：伊予市双海町 潮風ふれあいの館 愛媛県伊予市双海町高岸甲869-2

●想定移動時間：8時間半ほど ●現地到着予定時間：18：00

内訳：福島市から（郡山市を経由）バスで羽田空港まで5時間半、

羽田空港から松山空港まで飛行機で2時間、松山空港から現地まで1時間

① 集合前にトイレを済ませておいてください。出発時刻の30分前に受付開始します。くれぐれも遅刻の無いよう時間に余裕を持ってお出かけください。

② スタッフが郡山・福島集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。

③ 出発時刻の15分前までに名前のチェックを終えてください。

※多人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方がお出で頂き直接スタッフに申し伝えて下さい。電話連絡は受け付けることは出来ません。ご注意願います。

乗車前の注意事項

☆ 手荷物は車内に持ち込む荷物デイバック（お弁当、水筒、保険証のコピー、衛生用品）程度にしましょう。

☆ 乗り物酔いをしやすい方は事前に酔い止めの薬をお飲みください。

座席について

バス座席は自由ですが、前列は具合の悪い子どもが出た場合の席ですので空けます。

スタッフの指示に従って順序良く乗りこみ、とりあえず空いている席に座ってください。

7. 復路について

〔横浜発〕 12月30日

郡山ビックパレット（到着目標時間18時）で郡山組を降ろして、

福島駅イトーヨーカドー横（到着目標時間19時）に到着。到着時間はブログにて状況をお知らせします。

●想定移動時間：9時間半ほど ●福島市到着予定時間：19：30

内訳：宝泉坊ロッジから松山空港まで2時間程度、松山空港から羽田空港まで2時間、

羽田空港から福島市まで（郡山を経由）バスで5時間半

解散のながれ

スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。

※お迎えが保護者以外の方（友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など）は、必ず事務局までご連絡をください。

※年末年始で道が混み合う可能性があります。バスの運行状況についてはブログを更新いたしますので当日は必ずブログのチェックをよろしく願いいたします。

8. 集合・解散場所について

【郡山】ビックパレットふくしま

【福島】福島駅（イトーヨーカドー福島店横）

【郡山】ビックパレットふくしま集合・解散場所 地図



ビックパレットふくしま 建物の西側に面したところが集合場所です。

【福島】福島駅前イトーヨーカドー集合・解散場所 地図



JR郡山駅 西口前にバス乗り場があります。

バス乗り場と駅の間にある、駅前スペースが集合場所です。

バスは西口正面にあるイトーヨーカドー福島店前の高速バス乗り場より出発します。

9. 持ち物について

■大荷物リスト

※荷物には全て（靴下一足、タオル1枚にも）お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	移動で使用するカバン（背中や肩にかけられるタイプ）※リュックサックが最適
<input type="checkbox"/>	7泊分の着替え（長袖・長ズボン・長袖ジャージ上下）※洗濯は適宜可能です ※なるべく乾きやすいものをご準備ください。
<input type="checkbox"/>	防寒具、手袋
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚～3枚
<input type="checkbox"/>	エプロン、三角巾、マスク
<input type="checkbox"/>	バスタオル又はスポーツタオル※小さめのもの2枚
<input type="checkbox"/>	水着ほか水泳の道具
<input type="checkbox"/>	帽子
<input type="checkbox"/>	洗面用具、シャンプー、リンス
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット、洗濯ばさみ
<input type="checkbox"/>	ビニール袋（レジ袋）3～4枚程度
<input type="checkbox"/>	懐中電灯 ヘッドランプが望ましい。（予備電池）
<input type="checkbox"/>	虫除け、かゆみ止め、日焼け止め（必要に応じて）
<input type="checkbox"/>	カップ
<input type="checkbox"/>	雑巾

■当日手荷物用・サブザック

<input type="checkbox"/>	初日昼食のおにぎり弁当！！
<input type="checkbox"/>	水筒
<input type="checkbox"/>	保険証写し
<input type="checkbox"/>	列車内を楽しく過ごせるアイテム
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	常備薬（必要な子）
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします（貴重品の紛失や破損の責任は負いません）	

※インフルエンザ流行のシーズンですので、事前に予防注射の接種をお願い致します。

■ 大荷物送り先住所

「潮風ふれあいの館」

愛媛県伊予市双海町高岸甲 869-2 TEL : 089-986-1559

※配送業者に荷物の到着日を「12月23日(日)必着」とご指定ください。往復宅急便でお願いします。無理な方は復路着払い伝票記入の上ご持参ください。

福島の子どもの笑顔と元気応援プログラム 
ふくしまキッズ実行委員会

協力

NPO あぶくまエヌエスネット・NPO 教育支援協会・NPO ねおす・NPO 教育支援協会北海道
こどもの絆プロジェクト・環境 NGOezorock・大沼ふるさとの森自然学校
一般社団法人こどものチカラ研究会・北海道教育大学・北海道旅客鉄道株式会社
大沼グリーンツーリズム推進協議会・北海道公民館協会・
NPO 北海道自然体活動サポートセンター・ゆうばり自然体験塾・NPO 夢職人
NPO 放課後アフタースクール・学生団体スタニティ・学生団体MDream
横浜子ども支援協議会・NPO オーシャンファミリー海洋自然体験センター・横浜市
横浜市子ども青少年局・横浜市体育協会・横浜市野島青少年研修センター
愛媛県・今治市・西条市・愛媛県公民館連合会・学生団体MDream
子どもを守ろうプロジェクト協議会

(順不同)